

高齢者を取り巻く状況

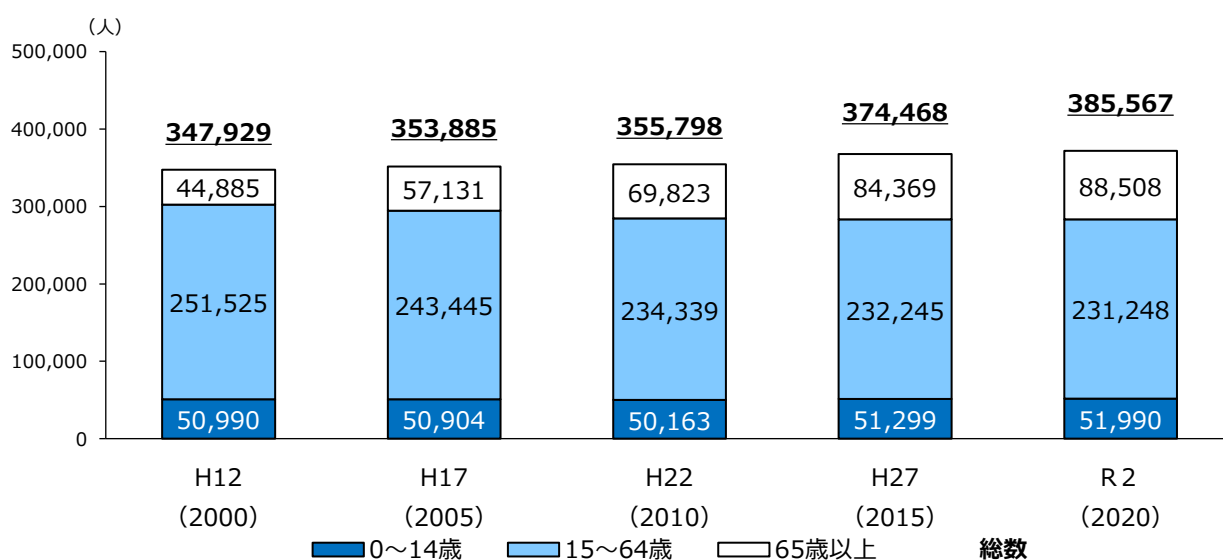
(1) 20 年間ににおける人口の推移（国勢調査）

①年齢 3 区分別人口の推移

全国的に人口が減少に転じている中、本市の総人口は年々増加しており、2020 年で 385,567 人と、この 20 年間で 1.1 倍となっています。

年齢 3 区分別にみると、0～14 歳の年少人口は横ばい、15～64 歳の生産年齢人口は減少している中、65 歳以上人口は大きく増加しており、2020 年で 88,508 人と、この 20 年間で 2 倍近くまで増加しています。

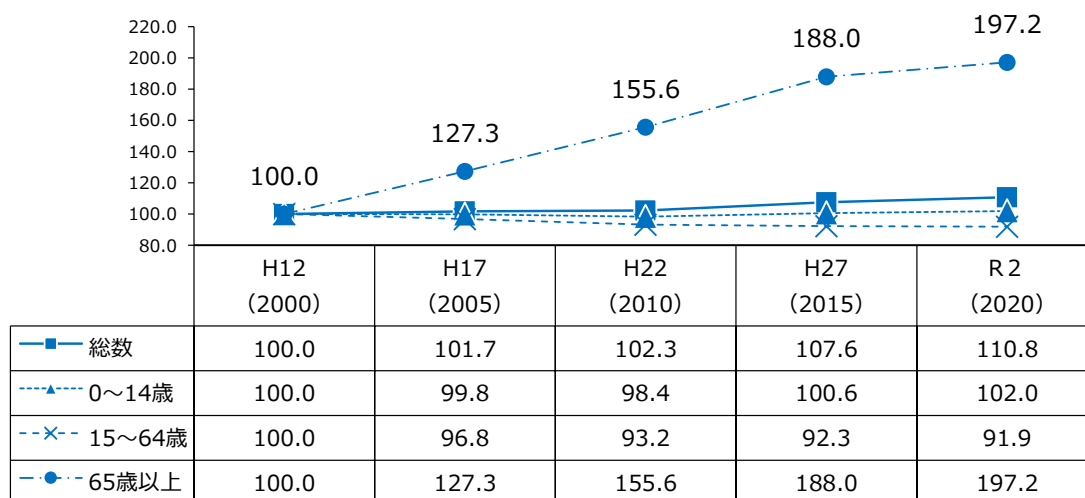
【年齢 3 区分別人口の推移】



※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

※年齢不詳人口は少数のため、表記していません。総人口は年齢不詳人口を含んでいます。

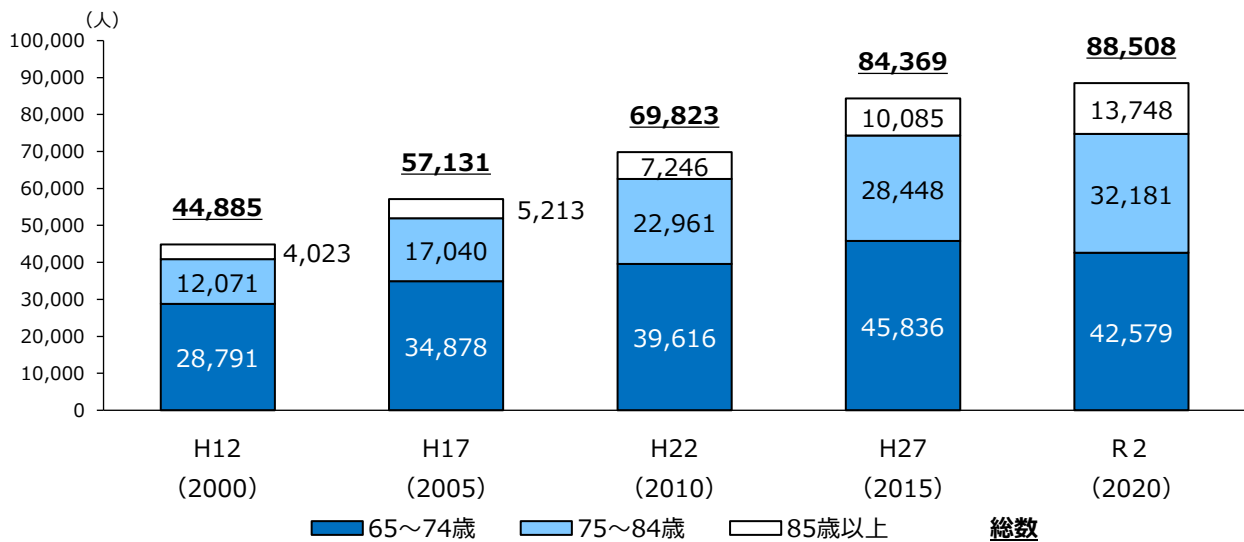
【2000 年を 100.0 とした人口指数】



※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

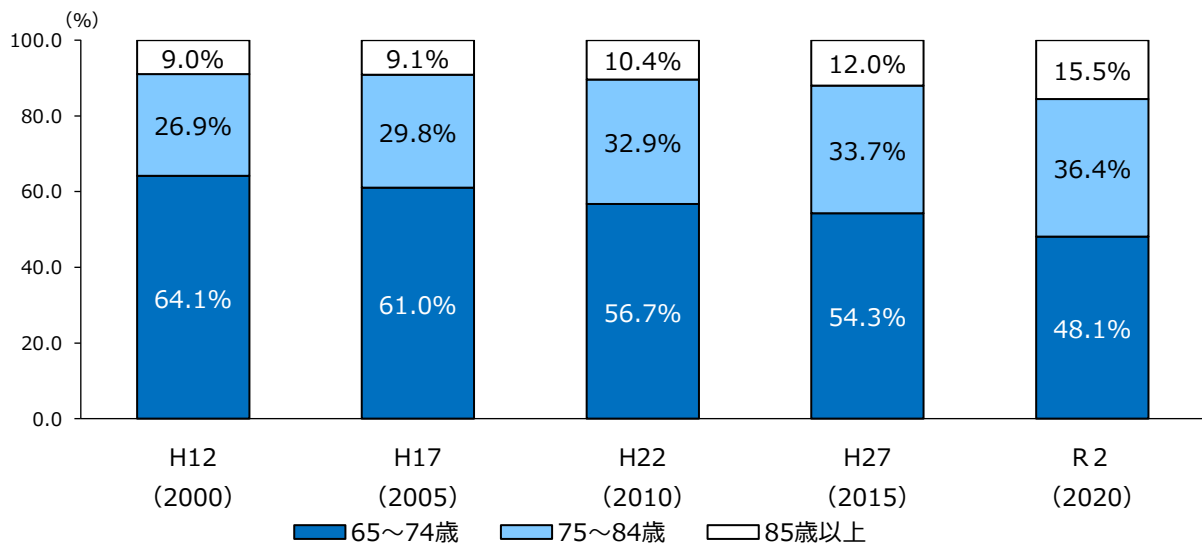
高齢者人口の構成をみると、2000 年は全体の 64.1%を 65～74 歳の前期高齢者が占めていましたが、2020 年では 75 歳以上の後期高齢者が全体の 51.9%を占めており、うち 15.5%が 85 歳以上の高齢者となっています。

【65 歳以上人口の推移】



※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

【65 歳以上人口の構成割合の推移】

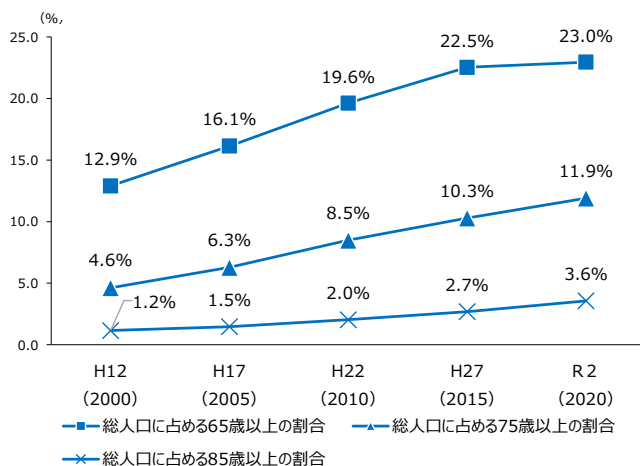


※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

総人口に占める 65 歳以上割合は 2000 年で 12.9%、2020 年で 23.0%と、この 20 年で 10.1 ポイント上昇していますが、2015 年から 2020 年にかけては 0.5 ポイントの上昇にとどまっています。

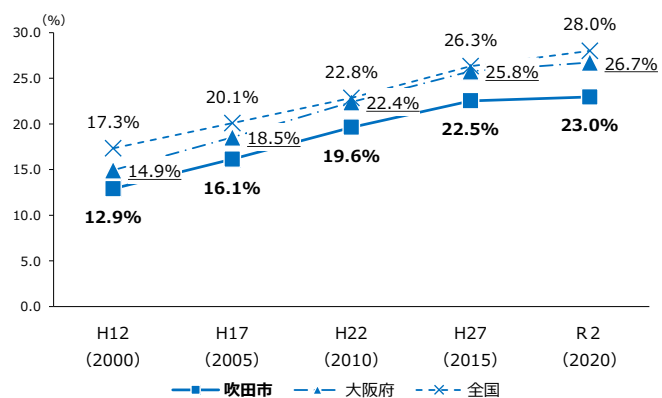
吹田市の総人口に占める 65 歳以上割合・75 歳以上割合は全国・大阪府より低くなっています。

【総人口に占める 65 歳以上割合・75 歳以上割合・85 歳以上割合の推移】



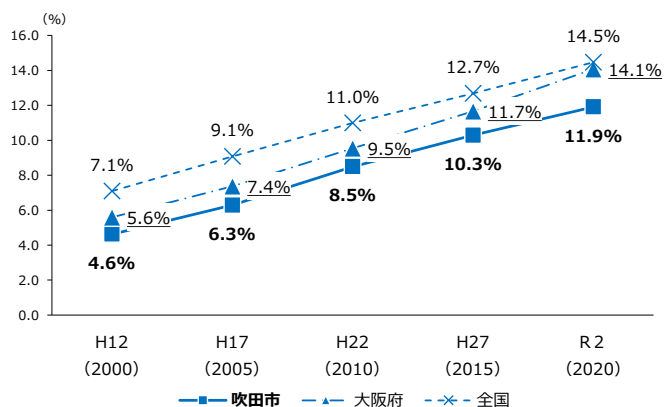
※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

【総人口に占める 65 歳以上割合の推移 (全国・大阪府との比較)】



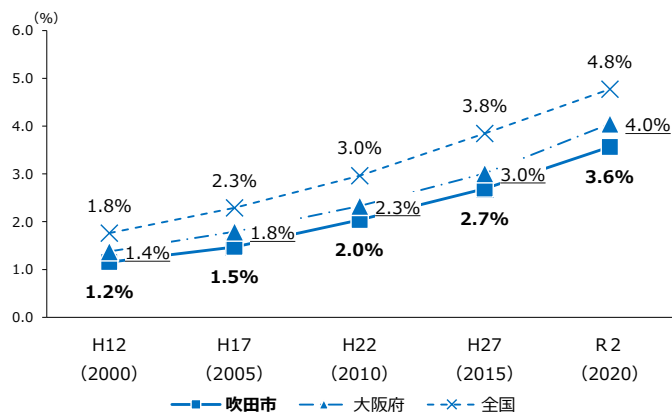
※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

【総人口に占める 75 歳以上割合の推移 (全国・大阪府との比較)】



※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

【総人口に占める 85 歳以上割合の推移 (全国・大阪府との比較)】



※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

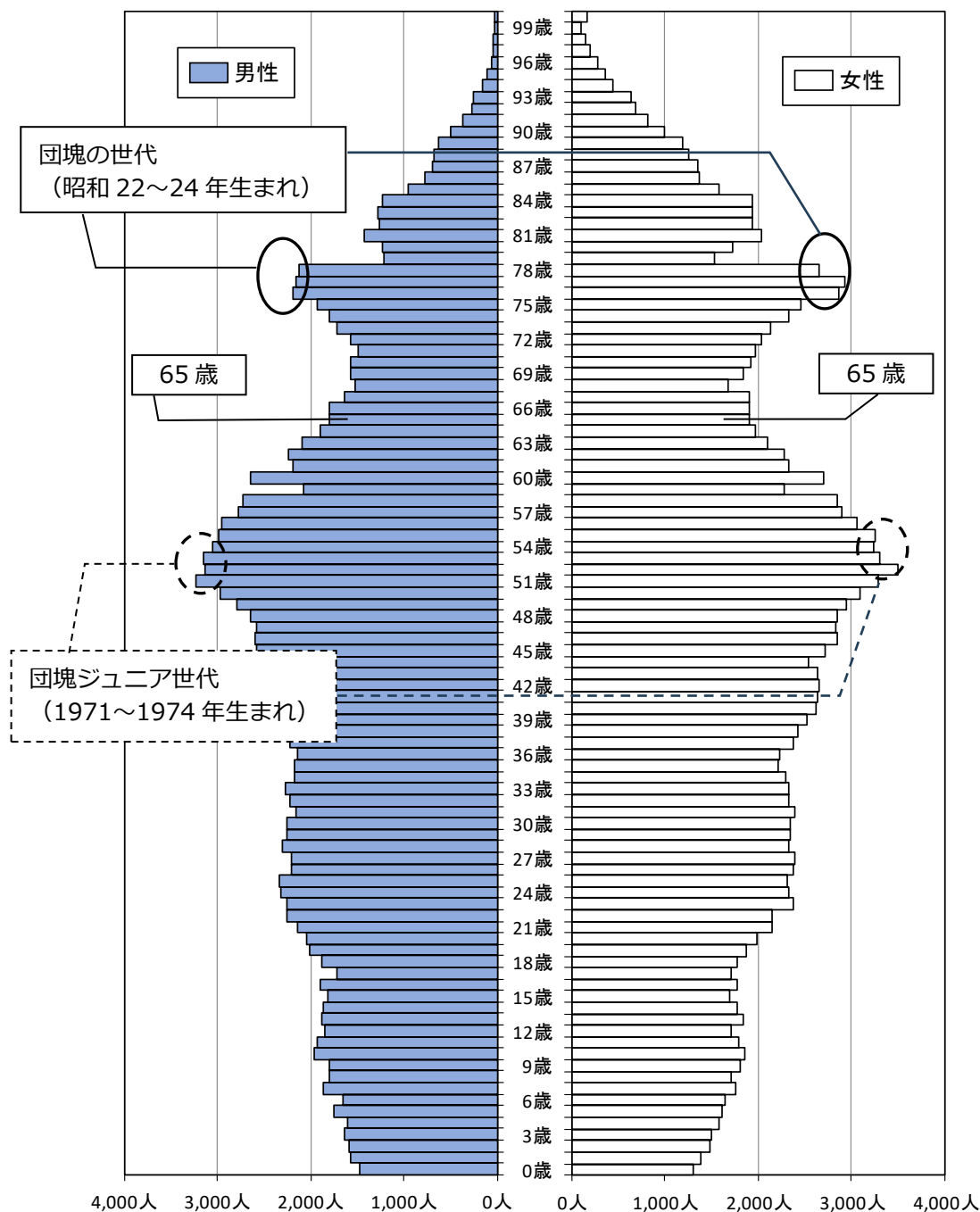
(2) 近年の人口の推移（住民基本台帳）

①人口ピラミッド【2025 年 9 月末現在】

2025 年 9 月末の人口は 386,330 人となっています。

団塊の世代が後期高齢期を迎え、今後 5 年間に後期高齢期を迎える人はこれまでに比べて増えない状況にあります。

しかし、これから高齢期を迎える人口が多くなっています。



資料：住民基本台帳（2025 年 9 月末現在）

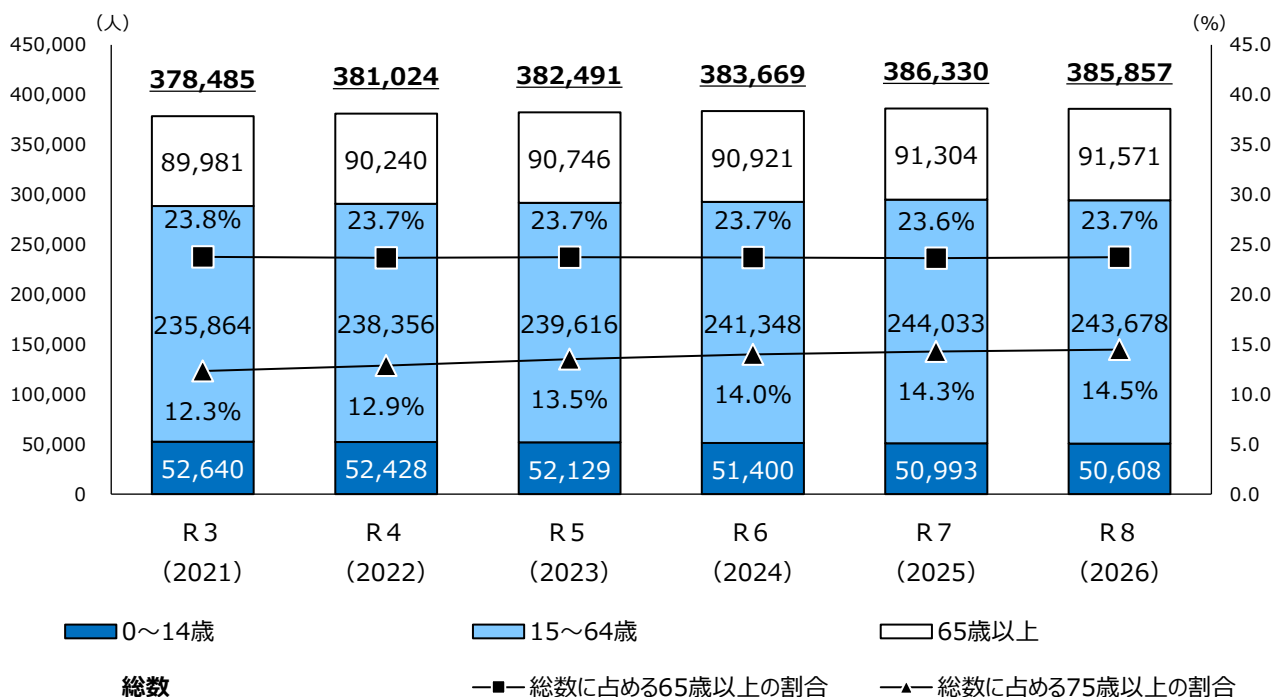
②人口の推移

総人口は2026年2月末で385,857人と、2025年9月末からわずかに減少しています。
65歳以上人口は2026年2月末で91,571人と、年々増加し、高齢化率は23.7%、75歳以上の割合は14.5%となっています。

【年齢別人口及び割合の推移】

単位：人、%

	第8期			第9期		
	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
総人口	378,485	381,024	382,491	383,669	386,330	385,857
0～14歳	52,640	52,428	52,129	51,400	50,993	50,608
15～64歳	235,864	238,356	239,616	241,348	244,033	243,678
40～64歳	130,424	132,038	133,164	134,043	135,114	135,301
65歳以上	89,981	90,240	90,746	90,921	91,304	91,571
65～74歳	43,303	41,141	39,065	37,142	36,069	35,654
75～84歳	31,961	33,617	35,556	37,243	38,027	38,173
85歳以上	14,717	15,482	16,125	16,536	17,208	17,744
総人口に占める65歳以上の割合	23.8%	23.7%	23.7%	23.7%	23.6%	23.7%
総人口に占める75歳以上の割合	12.3%	12.9%	13.5%	14.0%	14.3%	14.5%
総人口に占める85歳以上の割合	3.9%	4.1%	4.2%	4.3%	4.5%	4.6%



資料：住民基本台帳（各年9月末現在）※2026年は2月末現在

③65 歳以上人口の推移

65 歳以上人口を年齢別にみると、65～74 歳は年々減少しています。一方、75～84 歳・85 歳以上の後期高齢者は年々増加しています。

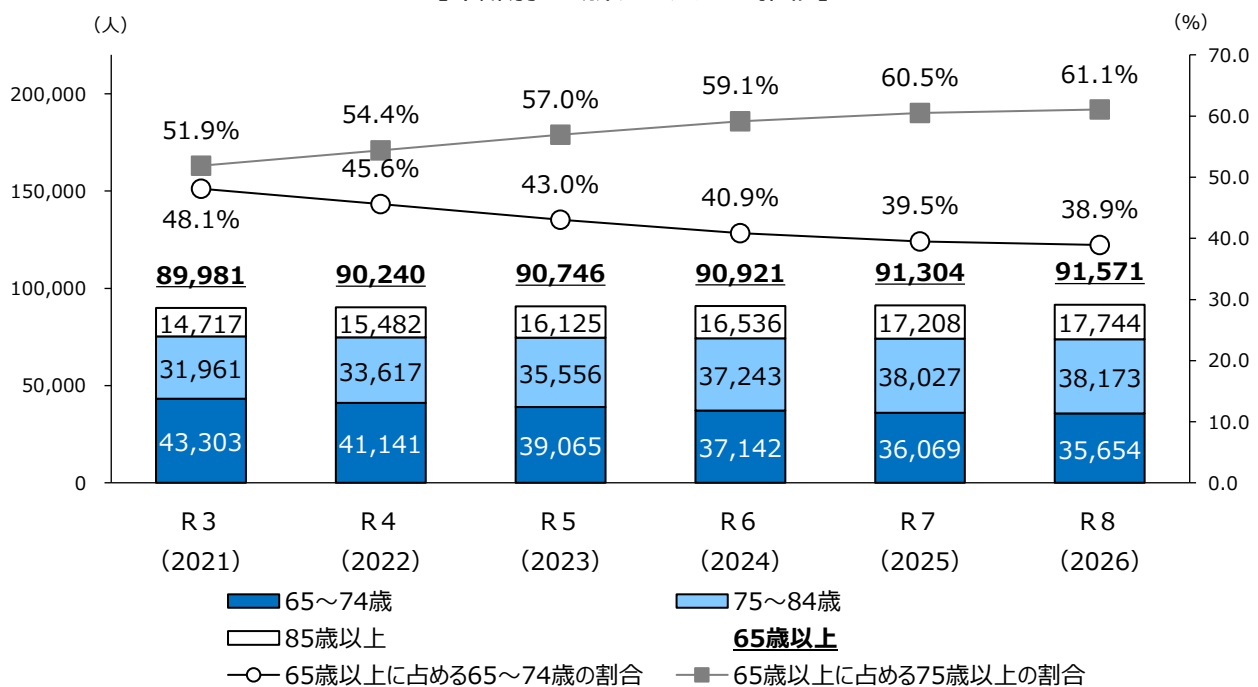
構成割合をみると、2026 年 2 月末で 65～74 歳が 38.9%、75 歳以上が 61.1%となっています。

【年齢別 65 歳以上人口と構成割合の推移】

単位：人、%

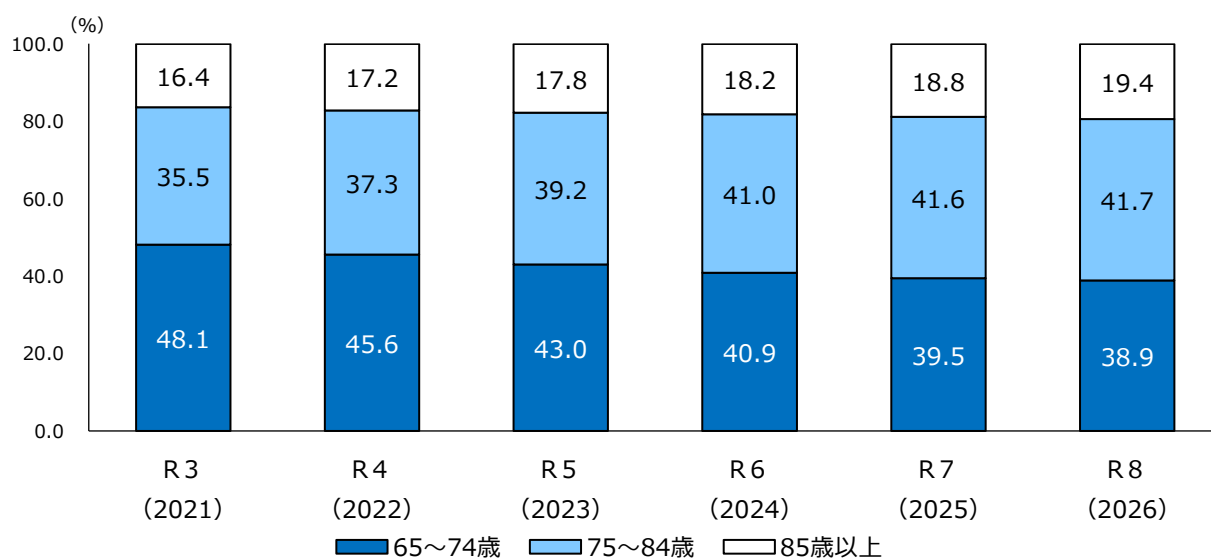
	第 8 期			第 9 期		
	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)
65 歳以上	89,981	90,240	90,746	90,921	91,304	91,571
65～74 歳	43,303	41,141	39,065	37,142	36,069	35,654
75 歳以上	46,678	49,099	51,681	53,779	55,235	55,917
75～84 歳	31,961	33,617	35,556	37,243	38,027	38,173
85 歳以上	14,717	15,482	16,125	16,536	17,208	17,744
65 歳以上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
65～74 歳	48.1	45.6	43.0	40.9	39.5	38.9
75 歳以上	51.9	54.4	57.0	59.1	60.5	61.1
75～84 歳	35.5	37.3	39.2	41.0	41.6	41.7
85 歳以上	16.4	17.2	17.8	18.2	18.8	19.4

【年齢別 65 歳以上人口の推移】



資料：住民基本台帳（各年 9 月末現在）※2026 年は 2 月末現在

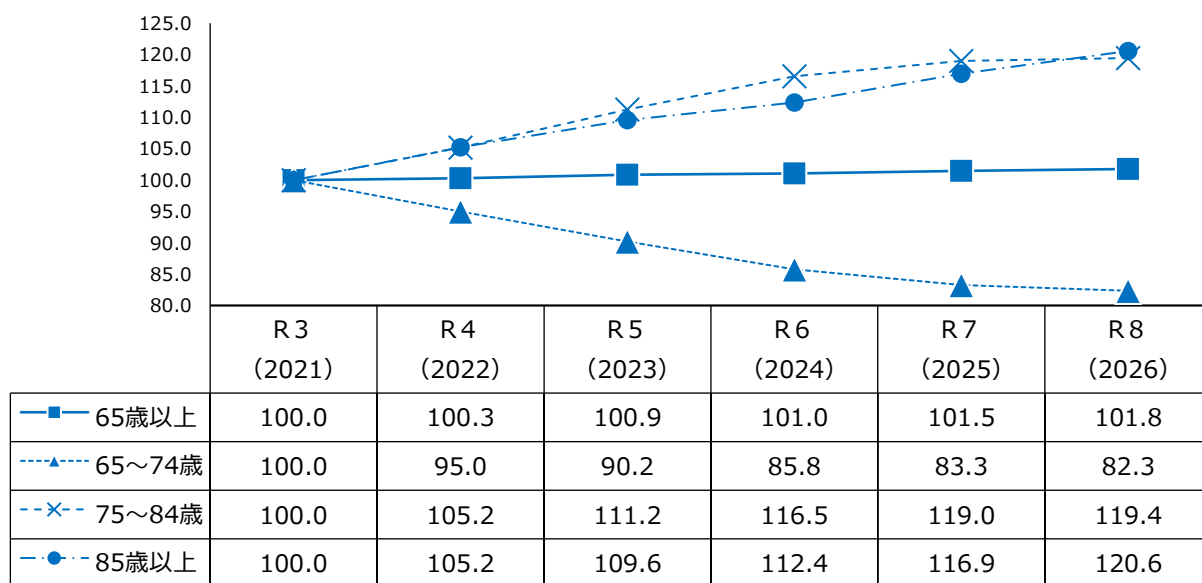
【年齢別 65 歳以上人口構成割合の推移】



資料：住民基本台帳（各年 9 月末現在）※2026 年は 2 月末現在

2021 年を 100.0 とした人口指数をみると、65 歳以上はほぼ横ばいとなっています。65～74 歳の前期高齢者は減少傾向にある一方で、75 歳以上の後期高齢者は増加しています。

【2021 年を 100.0 とした高齢者人口指数】



資料：住民基本台帳（各年 9 月末現在）※2026 年は 2 月末現在

(3) 世帯の状況

①一般世帯数、65 歳以上の方がいる世帯数の推移

一般世帯数は 2020 年で 179,962 世帯と年々増加しています。

65 歳以上の方がいる世帯も年々増加しており、2020 年で 58,226 世帯となっています。一般世帯に占める 65 歳以上の方がいる世帯の割合は 2020 年で 32.4%と、2015 年から 2020 年にかけてわずかに減少しています。

吹田市の 65 歳以上の方がいる世帯の割合は全国・大阪府に比べて低くなっています。

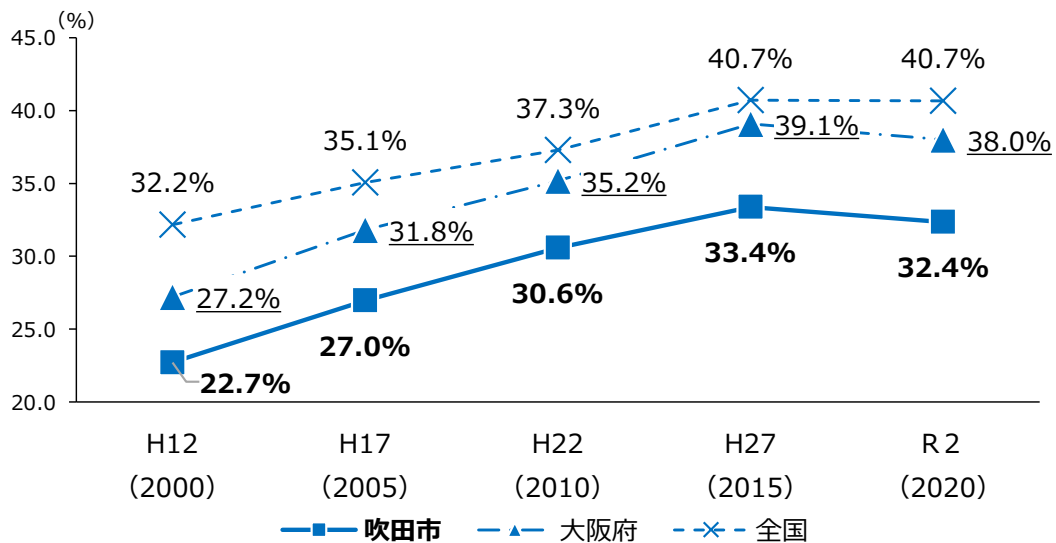
【一般世帯数、65 歳以上の方がいる世帯数の推移】

単位：世帯、%

		H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R 2 (2020)
一般世帯数	世帯数	141,340	147,242	154,587	168,363	179,962
	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
65 歳以上の方がいる世帯	世帯数	32,098	39,696	47,273	56,197	58,226
	割合	22.7	27.0	30.6	33.4	32.4
うち 65 歳以上の単身世帯	世帯数	8,317	11,337	14,539	18,324	19,773
	割合	5.9	7.7	9.4	10.9	11.0
うち 65 歳以上の夫婦のみ世帯 (夫婦ともに 65 歳以上)	世帯数	7,311	9,979	12,592	15,605	17,178
	割合	5.2	6.8	8.1	9.3	9.5
その他一般世帯	世帯数	109,242	107,546	107,314	112,166	121,736
	割合	77.3	73.0	69.4	66.6	67.6

※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

【65 歳以上の方がいる世帯割合の推移 (全国・大阪府との比較)】



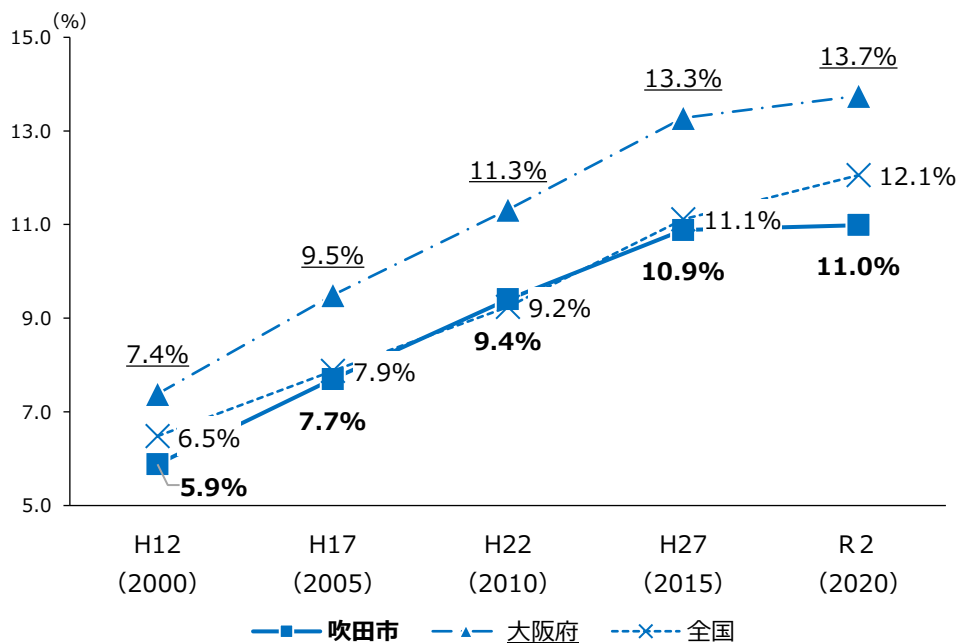
※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

②65 歳以上の単身世帯割合、65 歳以上の夫婦のみ世帯割合の推移

65 歳以上の単身世帯割合の推移をみると、2020 年で 11.0%と、2015 年までは大きく増加してきましたが、2015 年から 2020 年にかけてほぼ横ばいとなっています。全国・大阪府より 65 歳以上の単身世帯割合は低くなっています。

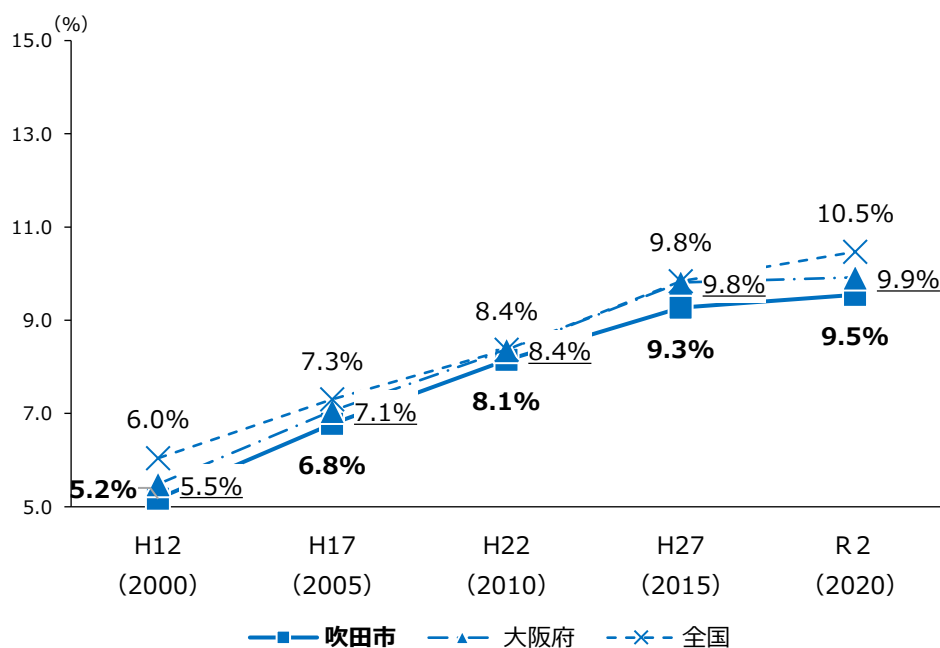
65 歳以上の夫婦のみ世帯は 2020 年で 9.5%と、65 歳以上の単身世帯と同様に 2015 年から 2020 年にかけてほぼ横ばい、全国・大阪府より低くなっています。

【65 歳以上の単身世帯割合の推移】



※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

【65 歳以上の夫婦のみ世帯割合の推移】



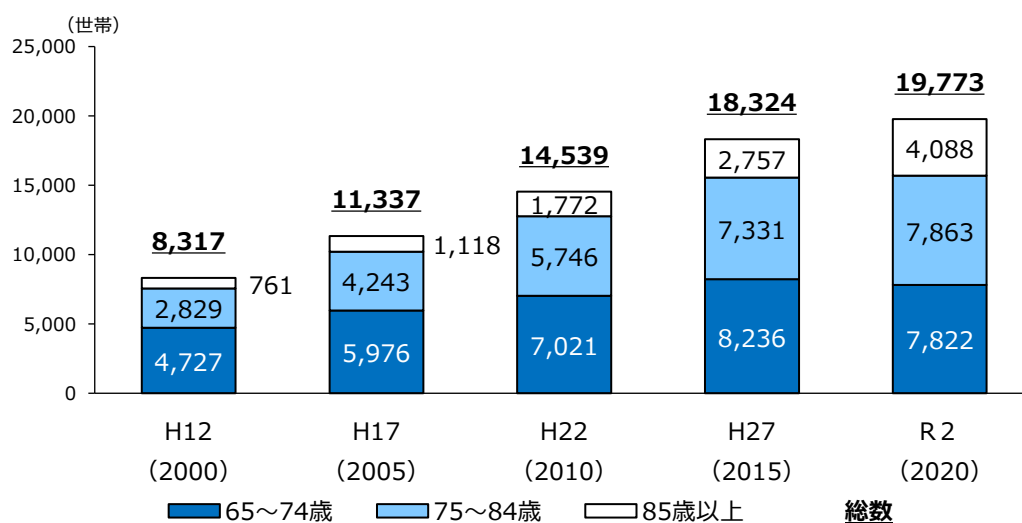
※資料：総務省「国勢調査」(各年 10 月 1 日現在)

③年齢別 65 歳以上の単身世帯の推移

65 歳以上の単身世帯を年齢別にみると、65～74 歳は 2015 年から 2020 年にかけて減少していますが、75 歳以上は年々増加しています。

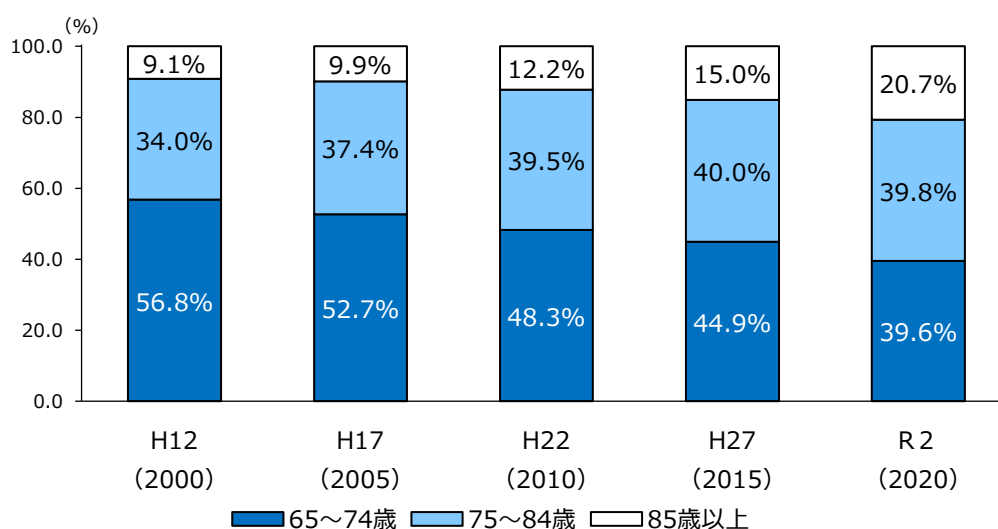
65 歳以上の単身世帯に占める年齢構成割合をみると、2010 年で 75 歳以上の単身世帯が半数を超え、2020 年では 6 割を占めています。85 歳以上の単身世帯は 2020 年で 2 割となっています。

【年齢別 65 歳以上の単身世帯の推移】



※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

【65 歳以上の単身世帯に占める年齢構成割合の推移】



※資料：総務省「国勢調査」（各年 10 月 1 日現在）

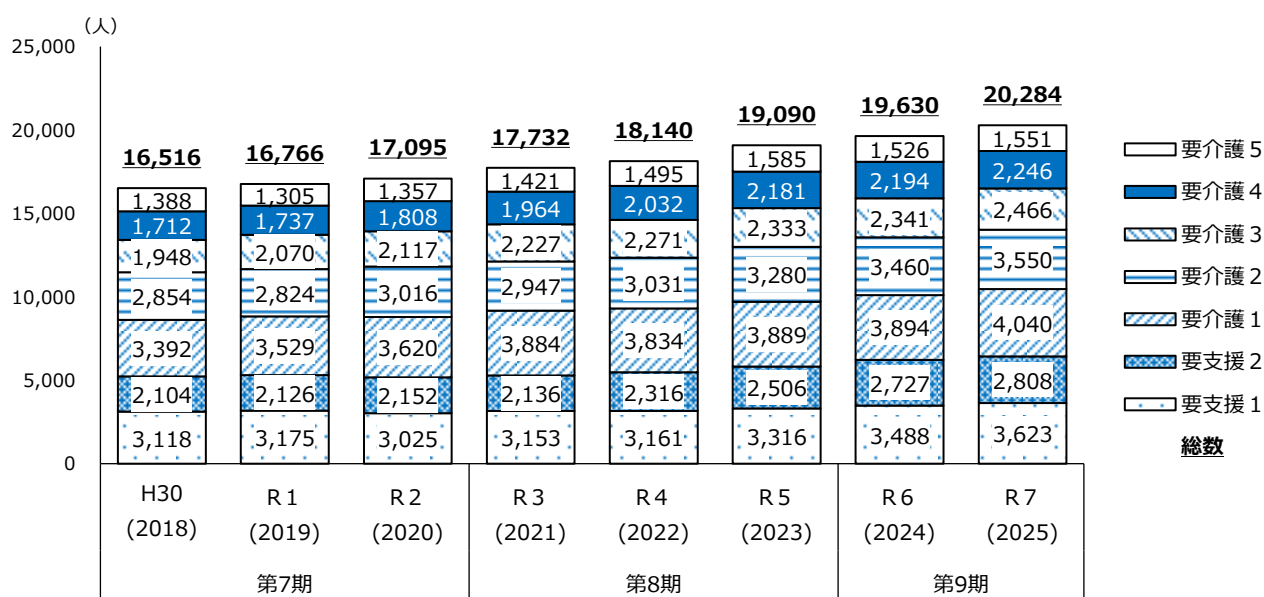
(4) 要支援・要介護認定者の状況

① 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数は年々増加しており、2025 年で 20,284 人となっています。2025 年を要介護度別にみると、要介護 1 が 4,040 人（構成比 19.9%）で最も多く、次いで要支援 1 が 3,623 人（構成比 17.9%）となっています。

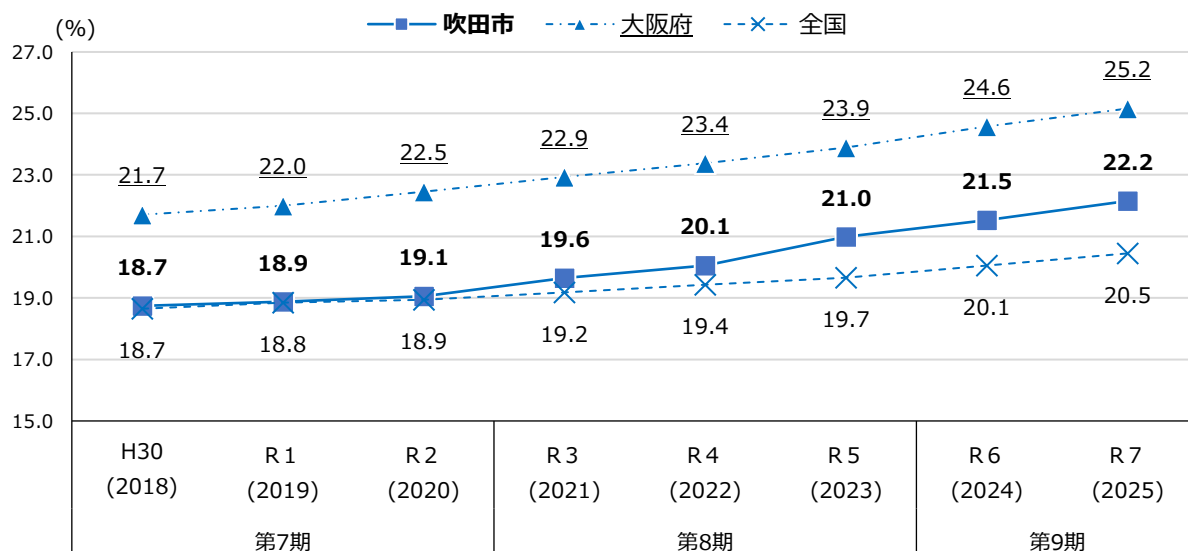
要支援・要介護認定率は各年ともに全国より高く、大阪府より低くなっています。

【要支援・要介護認定者の推移（第2号含む）】



資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

【要支援・要介護認定率の推移（第2号含む）】

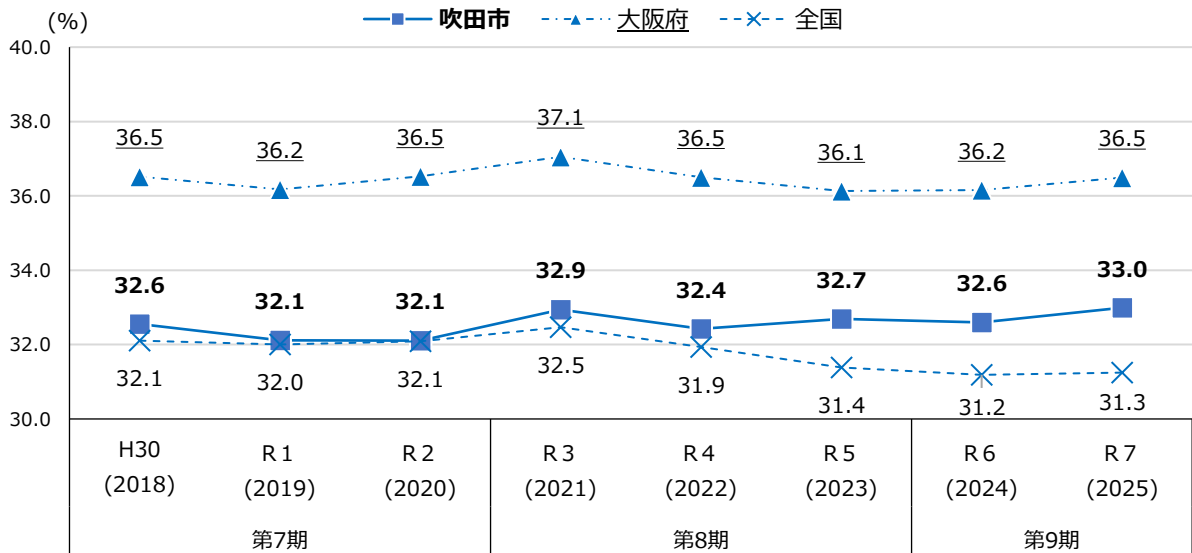


資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

75 歳以上の要支援・要介護認定者率は各年度で増減しており、2025 年で 33.0% となっており、全国より高く、大阪府より低くなっています。

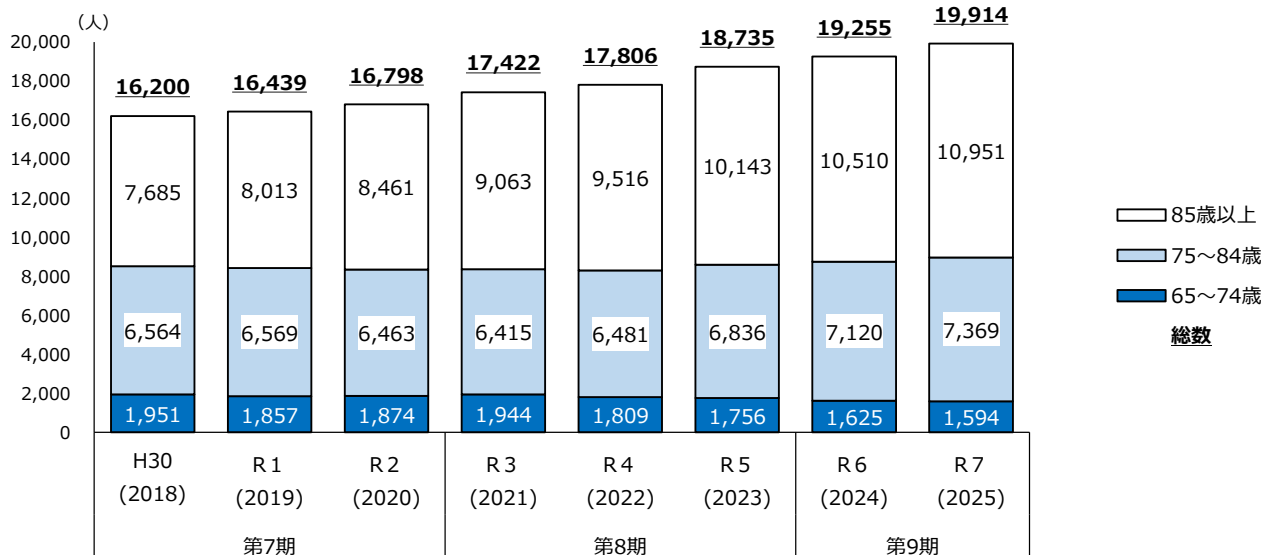
年齢別に要支援・要介護認定者数をみると、2025 年で 85 歳以上は 10,951 人で全体の 55.0% を占めています。

【75 歳以上の要支援・要介護認定率の推移】



資料：介護保険状況報告（各年 9 月月報）

【年齢別要支援・要介護認定者数の推移（第 2 号被保険者を除く）】

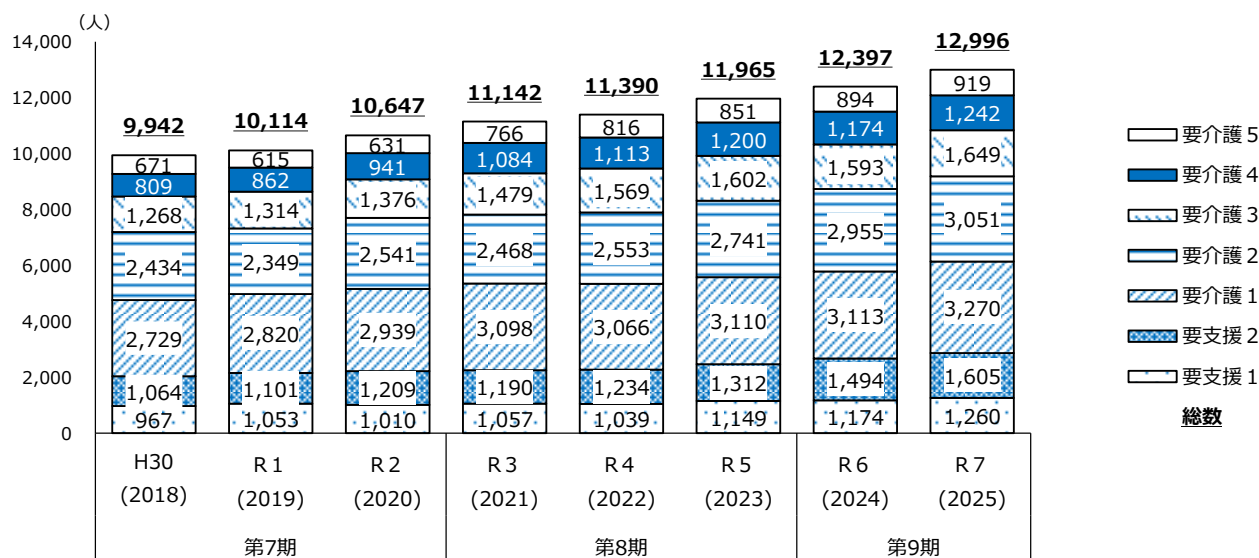


資料：介護保険状況報告（各年 9 月月報）

②居宅サービス受給者の状況

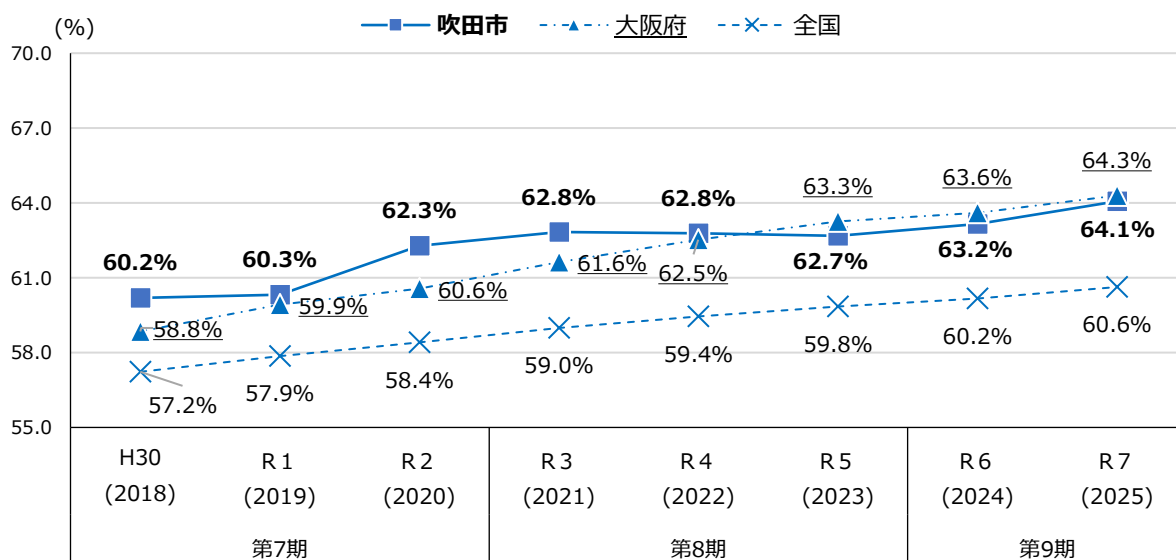
居宅サービスの受給者は年々増加しており、2025 年で 12,996 人となっています。
居宅サービス受給率は 2025 年で 64.1%と、2023 年以降年々増加しています。全国より高く、大阪府とほぼ同じ割合となっています。

【居宅サービス受給者の推移】



資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）

【居宅サービス受給率の推移】



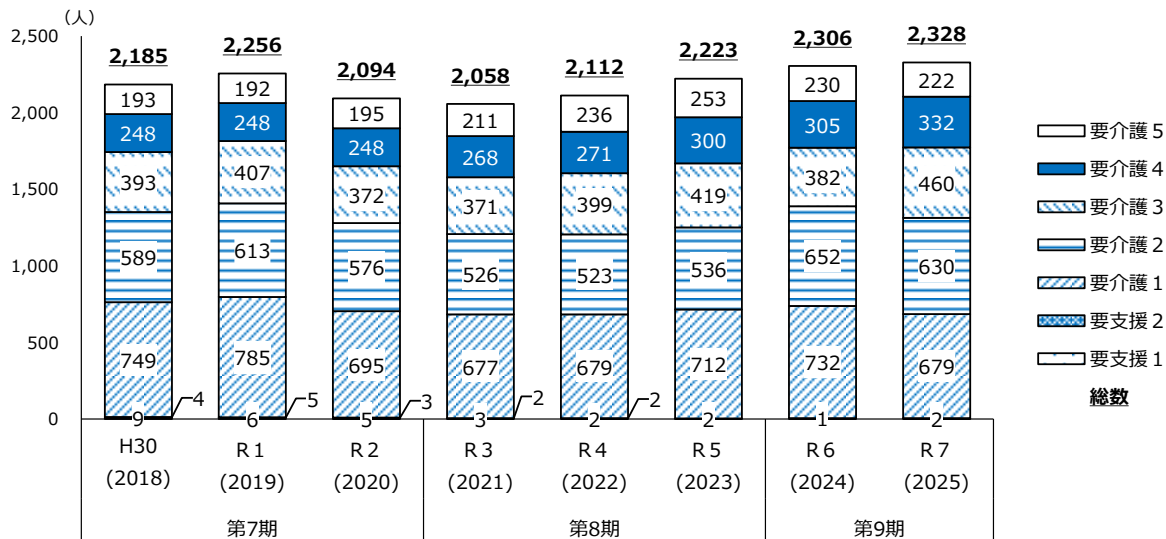
資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）

③地域密着型サービス受給者の状況

地域密着型サービスの受給者は、2021 年以降増加しており、2025 年で 2,328 人となっています。

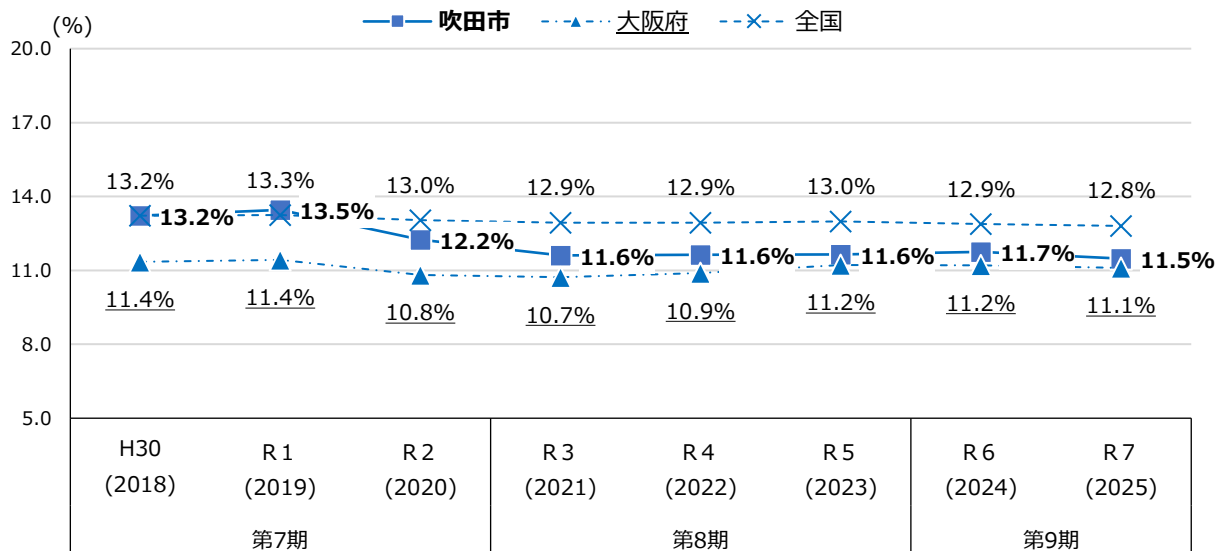
地域密着型サービス受給率は 2025 年で 11.5%と、全国より低く、大阪府より高くなっています。

【地域密着型サービス受給者の推移】



資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）

【地域密着型サービス受給率の推移】

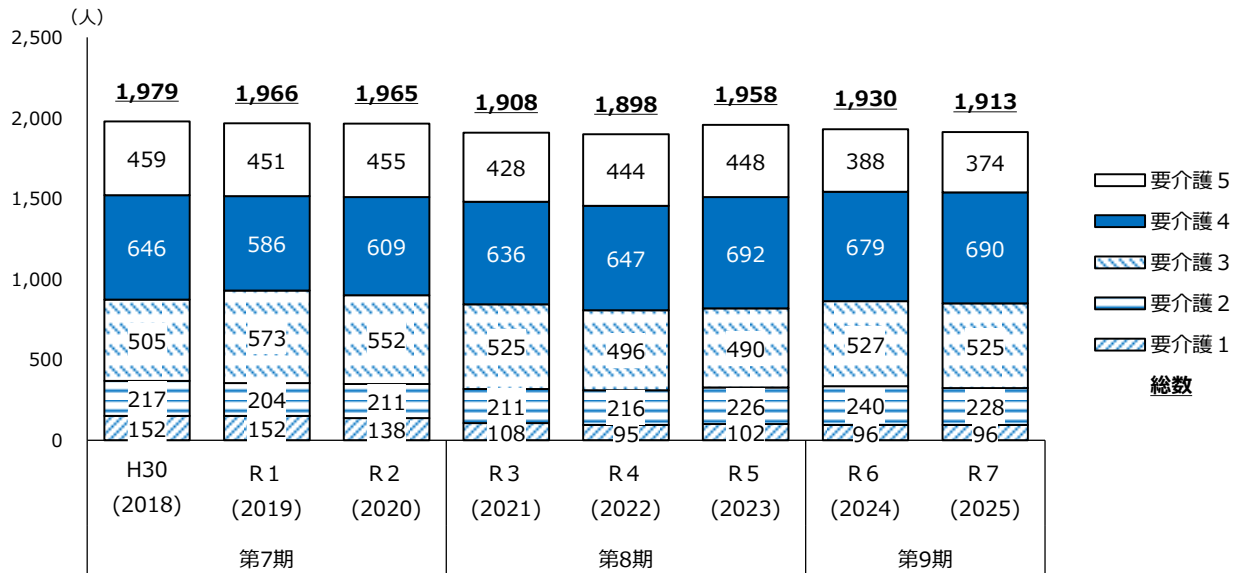


資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）

④施設サービス受給者の状況

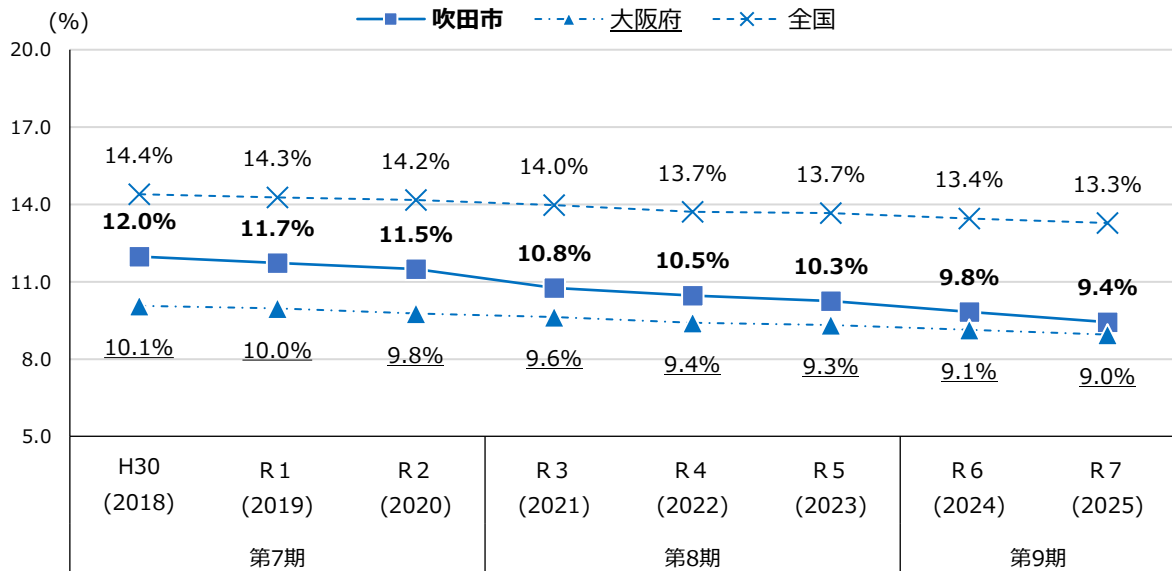
施設サービスの受給者は、各年で増減しており、2025 年で 1,913 人となっています。施設サービス受給率は 2025 年で 9.4%と年々減少しています。全国より低く、大阪府より高くなっています。

【施設サービス受給者の推移】



資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）

【施設サービス受給率の推移】



資料：介護保険状況報告（各年 11 月月報【9 月利用分】）